

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成30年11月1日(2018.11.1)

【公開番号】特開2016-89158(P2016-89158A)

【公開日】平成28年5月23日(2016.5.23)

【年通号数】公開・登録公報2016-031

【出願番号】特願2015-205848(P2015-205848)

【国際特許分類】

C 0 8 J 3/07 (2006.01)

G 0 3 G 9/087 (2006.01)

【F I】

C 0 8 J 3/07 C E T

C 0 8 J 3/07 C E Y

C 0 8 J 3/07 C F D

G 0 3 G 9/08 3 2 1

G 0 3 G 9/08 3 2 5

G 0 3 G 9/08 3 3 1

【手続補正書】

【提出日】平成30年9月18日(2018.9.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

スチレン / アクリレート樹脂を有機溶媒に溶解して第 1 の溶液を作成することと、
少なくとも 1 つのポリエステル樹脂を前記第 1 の溶液に溶解して第 2 の溶液を作成することと、

前記第 2 の溶液を塩基で中和し、中和した溶液を得ることと、

前記中和した溶液に十分な量の水を加えてエマルションを作成することを含む、プロセス。

【請求項 2】

前記エマルションから前記有機溶媒の一部を除去してラテックスを作成することをさらに含む、請求項 1 に記載のプロセス。

【請求項 3】

前記ポリエステル樹脂を溶解する前に前記第 1 の溶液を希釈することをさらに含む、請求項 1 に記載のプロセス。

【請求項 4】

前記少なくとも 1 つのポリエステル樹脂がアモルファスである、請求項 1 に記載のプロセス。

【請求項 5】

前記少なくとも 1 つのポリエステル樹脂が結晶性である、請求項 1 に記載のプロセス。

【請求項 6】

前記少なくとも 1 つのポリエステル樹脂に対する前記スチレン / アクリレート樹脂の比率（スチレン / アクリレート樹脂：ポリエステル樹脂）が重量基準で 5 : 95 ~ 25 : 75 の範囲である、請求項 1 に記載のプロセス。

【請求項 7】

前記有機溶媒はメチルエチルケトン（MEK）、イソプロパノール、またはこれらの組み合わせを含む、請求項１に記載のプロセス。

【請求項８】

前記塩基はアンモニア水溶液を含む、請求項１に記載のプロセス。

【請求項９】

前記ラテックスを用いて複数のトナー粒子コア構造体を作成することをさらに含む、請求項２に記載のプロセス。

【請求項１０】

前記複数のトナー粒子コア構造体のそれぞれの周りに配置されたシェルを作成することをさらに含む、請求項９に記載のプロセス。